

(事務連絡)
平成 24 年 6 月 1 日

関係者各位

農研機構北海道農業研究センター
ワークショップ事務局

「十勝有機農業ワークショップ 2012」の開催について

さわやかな初夏の季節、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。
標記情報交換会を開催計画しましたので、ご出席をお願い申し上げます。

記

- 1 開催月日 平成 24 年 7 月 5 日 13:20-17:00
- 2 場 所 とかちプラザ 2F・視聴覚室
- 3 参集範囲 農林水産省農林水産技術会議事務局、農研機構職員、有機農業・持続的農業・農業関連の環境問題に興味を有する市民・生産者、都道府県職員、市町村職員、農業団体職員、農業改良普及員、公的機関の研究者等

以上

ワークショップ事務局
畑作研究領域
主任研究員 池田 成志
TEL : 0155-62-9276
E-mail : sikeda67@affrc.go.jp

十勝有機農業ワークショップ 2012
北海道における自然共生型農業への探求

1. 開催趣旨

全国の中でも北海道は生産者の質・数ともに有機農業先進地域である。道内最大の農業生産地帯であり、大規模畑作が主流である十勝管内においても有機農業への取り組みが増え、環境に優しく持続的な農業生産技術としての期待も高まりつつある。

本ワークショップでは国内の有機農業・持続的農業に関する研究を紹介するとともに、有機農業における先進的な生産者からの事例報告を頂き、今後の北海道での有機農業プロ（気候変動プロB3系）の円滑な推進と情報収集、及び今後の十勝・北海道に適した有機農業・環境に優しい持続的農業の発展に資することを目的とする。

2. 開催日時 7月5日 13:20～17:00

3. 開催場所 とかちプラザ・2F・視聴覚室
(北海道帯広市西4条南13丁目 電話:0155-22-7890)

4. 第1部 研究紹介

1) 主催者挨拶 北海道農業研究センター 畑作研究領域長 平藤 雅之

2) 講演

省耕起と低速心破による土壌管理法 ―持続的農業のための土づくりの提言―

(株)イーエス総合研究所・特別研究員 相馬 尅之

作物の風味をめぐる化学物質の話 ―植物の情報発信・防御反応はおいしさに影響する?―

中央農業総合研究センター 主任研究員 田中福代

農業における三位一体「植物・肥料・微生物」の科学的解明と自然共生型農業

北海道農業研究センター 主任研究員 池田成志

農研機構における有機農業研究の進捗状況と今後の課題

中央農業総合研究センター 上席研究員 三浦重典

5. 第2部 現地報告

1) 講演

有機農業現場における、私の工夫

北海道当麻町 (有) 当麻グリーンライフ 代表取締役社長 瀬川 守

耕畜複合型圃場活用法による持続的農業の提案

北海道標津町 (有) 興農ファーム 代表取締役 本田廣一

本州における大規模有機農業経営

群馬県藤岡市 (有) 古代米浦部農園 代表取締役 浦部 修

2) 総括・質疑

北海道有機農業から次の世代への展望を拓く

茨城大学名誉教授 中島紀一

6. 参集範囲

農林水産省農林水産技術会議事務局、農研機構職員、有機農業・持続的農業・農業関連の環境問題に興味を有する市民・生産者、都道府県職員、市町村職員、農業団体職員、農業改良普及指導員、公的機関の研究者等

7. 参加費 無料

8. 主催 農研機構 北海道農業研究センター

9. 定員 160名

10. 参加申込み 締切6月29日

11. 参加申込み・問い合わせ先

北農研・芽室研究拠点・畑作研究領域・主任研究員・池田成志

TEL : 0155-62-9276、FAX : 0155-61-2127、E-mail : siked67@affrc.go.jp

十勝有機農業ワークショップ 2012

北海道における自然共生型農業への探求

出席報告書

所 属	役 職	氏 名

参加申込は以下へご連絡ください。

北農研・芽室研究拠点・畑作研究領域・主任研究員・池田成志

FAX : 0155-61-2127

E-mail : sikeda67@affrc.go.jp